

体験入会のご家族の皆様へ

淳風会東郷 事務局 尾上昌人

みなさん、体験入会お申し込みくださりありがとうございます。元気なお子さんたちに接することができ、とてもうれしく思います。

皆様お一人、お一人とじっくりお話ししたいのですが、人数が多く指導もしなければならぬのでお手紙を書かせていただきました。

みなさん、子育て本当にご苦労様です。子育ては本当に大変ですよ。迷いも多いし、子供はいうこと聞かないし、学校はあまり面倒見てくれないし、塾は高いし、公立、私立と進学の見込みは多いけどよくわからない…。私が子育てした頃も今も変わらないと思います。出口がなく、展望もなく、目先の日常に追われているだけという感覚をもっている方も多いのではないのでしょうか？

でも、私は、「**一人の人間が一生かかっていることのうち、子育てほど大切で、意義深いものはないのではないかと…**」という思いをずっと持ってきました。長男が大学二年、長女が高校三年で「子育て」が一段落した今、その思いをさらに強く感じる様になりました。

私たち夫婦は、「**子育ては道場にしてもらった。**」と思っています。どんな感じかお話ししますね。私は、30歳までは転勤族で子育てを妻に任せ切りにしていたんですが、16年前「ちゃんと子育てしたい。」という思いから、妻の実家がある東郷町にお世話になることになりました。そのうち長男が幼稚園で軽い「いじめ」に遭い、何か精神と体を鍛える所はないかと探し、父の紹介で尾張旭の淳風会に長男と私が入会しました。それ以来、毎週尾張旭に通い親子で空手を習いました。ところが熱心なのは親だけで、40分近く車で揺られているうちに熟睡してしまう長男をたたきおこし、泣き叫んでいるうちに道着を着せ、道場に強制連行するという感じでした。皆さんもこれから体験されるかな？

私は「**子供をのびのび育てたい。**」という思いがありましたので、普段子供を叱るのをためらっていません。「怒ったら将来変な人間になるんじゃないか？」とか考えて我慢することがありましたが、それがかえってストレスになって、爆発し激しく叱責したりしてしまうことがしばしばありました。子供との関係がうまく行かず悩みでした。しかし、道場の先生は、迷いもなく、我が子を叱ってくれました。「静かにしないと話が聞こえない。」「先生のいうことを聞きなさい。」「まじめに練習しなさい。」「人に手を出してはいけません。」など時には静かに、時には大声を上げて怒鳴って下さいました。集団で何かをするには当たり前前のトレーニングですが、私にとってはカルチャーショックで「**ああちゃんと怒っていいんだ。**」妙に安心したので今でも覚えています。

一年後、「恥ずかしい」という妻を説得し（今では想像できませんが…）一緒に空手をはじめてもらい、家族4人全員で空手を習うことになりました。妻とは行き帰りの車の中よく空手の話しをしました。昇級のこと、大会のこと、合宿のことなどなど、気がつけば、家族4人の共通の話題と共通の体験を空手でさせてもらい、どれだけ家族の絆が深まったかわかりません。

3ヶ月に1回の昇級試験は本当にドキドキでした。「落とされたら人生終わってしまう。」

くらいの緊張でした。子供も同じだったと思います。だから昇級・昇段試験に合格するとうれしくて仕方ありませんでした。お金があまりなかったですが、家族の誰かが昇級・昇段試験に合格した日はデニーズでお祝いすることを決めていました。そのときは一生懸命なだけでしたが、今思い出すと、涙が出るほど愛おしく貴重な家族の体験となっています。

また時々、大会がありました。子供たちの戦績に一喜一憂して来ました。いい成績が取れた時は一緒に喜び、駄目な時は一緒に落ち込みました。

そうこうしているうちに、子供たちの披露する空手の型にその子の個性がにじみ出てくるのがわかる様になりました。子供たちは親の知らないところ（学校やクラブや道場などあらゆる場所）で考え、悩み、苦勞して迷いながら自分の人格を磨いているのですが親は、子供のことが心配で心配で、子供の心の成長に気付きません。しかし、長い伝統のある空手の型は、「形（カタチ）」と「心（ココロ）」を一緒に表現しますので、その子の「人間性」がにじみ出てくるのです。それがわかると、我が子の型を見て、その子の内面的な成長や、努力がわかり、「こんながんばっていたんだ。」「こんなことも表現できるようになったんだ！」感動できる様になりました。そんなきっかけから今では、子供の人格をしっかり認められる様になった気がしています。また、池田先生が命がけで開いて下さった常心門空手は一生かけても勉強しきれない高い頂を示してくれていますので、「家族と一緒に山登りをしているような一体感」を空手を通して持つことができます。

さて、長々と書きましたが私たち家族はこんなカタチで、道場に育てていただいたのです。私たち夫婦は、自分たちが主宰するこの道場からそんな親子がたくさん出てくれることを願っています。私は、道場に来てくれる子供さんたちを見るたび、また頭を撫でる度に、「この子たちが成人するまでは道場を閉めないぞ」と言い聞かせています。我々道場のできることはどれだけあるかわかりませんが、ろくなことはできませんが、一緒に「子育て」をさせてもらえたらと思っています。空手のことだけでなく、何かあったら相談して下さい。入会する、しないの決断を迷っている方は一人で、また一家族で考えるよりも解決が早いことがあります。決して「入会ありき」ではなく、お子さんの成長のために何がベストか、ベターか考えます。（尾上携帯 090-3581-1898 メール gp@onoue.com）

そのほか、いじめ、進路、塾、勉強、学校の先生とそりが合わないなど悩みをお持ちの方も相談ください。一回は経験していますので一緒に考えることができますと思います。

そして、できれば我々の様に親子で空手をやりたい方もご相談ください。最初は勇気がいりますが楽しいですよ。

それでは、体験の1ヶ月間、思い切り空手を楽しんで下さい。道場を走り回る、先生のいうことを聞かないなど、我が子に不満や不安を感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、気長にやりましょう。1ヶ月後、多少でもお子さんに変化が見られたら是非入会し、一緒に空手をやりましょう。それではまた。